



第32回 全日本大学ホッケー王座決定戦・東西交流戦

2日目

開催日時 6 月 23 日 (日) 会場 岐阜県グリーンスタジアム 天候 晴れ

Aコート

第1試合	東京農業大学	棄権	駿河台大学
9:30			
第2試合	東海学院大学	4	聖泉大学
11:20		$\begin{pmatrix} 1 - 0 \\ 3 - 1 \end{pmatrix}$	1
第3試合	天理大学	5	明治大学
13:10		$\begin{pmatrix} 3 - 1 \\ 2 - 4 \end{pmatrix}$	5
		SO 3 - 2	
第4試合	朝日大学	2	駿河台大学
15:00		$\begin{pmatrix} 0 - 0 \\ 2 - 0 \end{pmatrix}$	0
Bコート			
第1試合	天理大学	0	山梨学院大学
9:30		$\begin{pmatrix} 0 - 0 \\ 0 - 3 \end{pmatrix}$	3
第2試合	立命館大学	5	関西学院大学
11:20		$\begin{pmatrix} 4 - 1 \\ 1 - 0 \end{pmatrix}$	1
第3試合	山梨学院大学	0	慶應義塾大学
13:10		$\begin{pmatrix} 0 - 0 \\ 0 - 0 \end{pmatrix}$	0
		SO 3 - 2	
第4試合	東京農業大学	0	立命館大学
15:00		$\begin{pmatrix} 0 - 2 \\ 0 - 1 \end{pmatrix}$	3

【各試合の結果・詳細 Aコート】

第1試合

東京農業大学 棄権 駿河台大学

<得点>

∴

<戦評>

不戦勝

テクニカルオフィサー		アンパイア
リザーブ			
ジャッジ			

第2試合

東海学院大学 4 $\begin{pmatrix} 1 & - 0 \\ 3 & - 1 \end{pmatrix}$ 1 聖泉大学

<得点>

東海学院 : 7分 清水、38分 山口、40分 吉原、54分 一谷
 聖泉 : 66分 荒木

<戦評>

聖泉大学のセンターパスにより試合が開始。7分東海学院大学#9清水が右サイドからドリブルでサークルインし、リバースシュートで先制する。勢いの出た東海は追加点が奪えないものの圧倒的なボール支配率により、有利な展開で試合を進める。対する聖泉も負けじと攻め込み27分PCを取得するが得点には繋がらない。試合はそのまま1-0で東海学院リードで前半を折り返す。
 後半戦に入っても東海学院ペースで試合は進み、38分#15山口がキーパーの弾いたボールを押し込み追加点を挙げる。41分にはPCから#14吉原がヒットシュートを左下に決め、3-0と点差を広げる。その後も東海学院の勢いは止まらず54分にはPCから4点目を挙げる。対する聖泉は66分に東海学院のDFの隙を突いてPCを取得。タッチシュートによる得点を挙げ、一矢報いることに成功する。そのまま試合は終了し、東海学院が4-1で勝利を収め準決勝に駒を進めた。

テクニカルオフィサー	鹿野 育郎	アンパイア	山田 恵美
リザーブ	山本 誠		董森 誠
ジャッジ	下島 多美子		

第3試合

$$\text{天理大学 } 5 \begin{pmatrix} 3 & - & 1 \\ 2 & - & 4 \end{pmatrix} \quad 5 \quad \text{明治大学}$$

SO 3 - 2

<得点>

天理 : 12分 三谷、16分 瀧澤、21分 落合、42分 松村、68分 落合
 明治 : 31分 松尾、39分 福田、39分 安部、61分 大嶋、64分 大嶋

<戦評>

天理大学のセンターパスにより試合が開始。立ち上がり明治大学がボールを支配し、有利に試合を進める。12分天理はセットプレーから#2膳棚のセンタリングに#7三谷が合わせ先制する。16分天理#16小澤がタッチシュートで2点目を挙げる。21分には天理#6落合のヒットシュートが決まり3点差とする。追いつきたい明治は、31分#8大嶋がドリブルでサークルインしパスを受けた#9松尾がダイビングシュートを決め1点を返す。シュートの決定力で勝る天理が3-1のリードで前半を折り返す。

後半に入り、39分サークル内での流れ球を明治#6福田が押し込み3-2と点差を縮める。続く40分、明治#9松尾のパスを#10安部がヒットシュートで決め同点に追いつく。天理は42分#松村がサークル内でパスを受けると冷静にヒットシュートで決め、再び勝ち越す。61分明治は#8大嶋がヒットシュートで決め、さらに64分再び#8大嶋のゴールで逆転に成功する。このまま試合終了かと思われたが67分天理がPCを獲得。#6落合の土壇場のゴールで5-5の同点に追いつき、SO戦に突入した。

天理の先攻でSO戦が開始。1本目を天理#4松村が明治GK#12國友をかわすも外す。明治は#10安部が決める。2本目は両チームとも外す。3本目天理#16小澤がPSを取得し#2膳棚が決め、明治も#8大嶋が決める。4本目、5本目と天理は決めるも明治は2名とも外し、3-2で天理が接戦を制し準決勝に駒を進めた。

テクニカルオフィサー	大橋 守	アンパイア	見玉 茂樹
リザーブ	我妻 順子		元宗 宏寿
ジャッジ	妹背 修治		

第4試合

$$\text{朝日大学 } 2 \begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \end{pmatrix} \quad 0 \quad \text{駿河台大学}$$

<得点>

朝日 : 53分 佐橋、63分 服部
 駿河台 :

<戦評>

朝日大学のセンターパスにより試合が開始。3分駿河台大学がPCを取得。#3関谷がフリックシュートを放つもクロスバーにあたり得点には至らない。駿河台ペースで試合が進む中、朝日も固い守りを見せ得点を許さない。30分駿河台は自陣でボールを奪うと素早いカウンターで得点チャンスを得るも朝日GK#18坂井田の好セーブにより阻まれる。互いに一步も譲らない互角の展開で前半を折り返す。

後半に入り、駿河台はスクープで朝日ゴール前にボールを送るもシュートには至らない。両チームともに決定的なチャンスを得られず、一進一退の攻防が繰り広げられる。試合が動いたのは53分、朝日#8片平が右サイドからドリブルでサークルインし、ゴール前の#15佐橋がパスを受けてシュート、待望の先制点を挙げる。駿河台も果敢に攻めセンタリングからタッチシュートをするも朝日GK#18坂井田がまたもや好セーブを見せる。これで朝日に流れが傾き、63分朝日#10服部が単独でドリブルからシュートをし2点目を挙げる。そのまま試合が終了し、2-0で朝日が勝利を収め準決勝に駒を進めた。

テクニカルオフィサー	鹿野 育郎	アンパイア	木下 英貴
リザーブ	山田 恵美		中元 大輔
ジャッジ	下島 多美子		

【各試合の結果・詳細 Bコート】

第1試合

天理大学 0 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 3 \end{pmatrix}$ 3 山梨学院大学

<得点>

天理 :
山梨学院 : 41分 藤井、55分 山田、67分 藤井

<戦評>

山梨学院大学のセンターパスにより試合が開始。開始早々から山梨学院が、天理大学陣内に攻め込むが天理の懸命なDFによりシュートチャンスを得られない。その後も山梨学院は7分、PCを3本立て続けに取得するも、天理の堅守を破れず得点には至らない。天理は、堅い守りからカウンターで決定的なチャンスを創るが、#26江村の渾身のシュートは枠を捉えることができない。一進一退の攻防が続き0-0のまま前半戦を折り返した。

後半戦が開始。41分山梨学院がPCを取得。#20藤井がドラックフリックを右上に豪快に決め、待望の先制点を挙げる。追いつきたい天理は、山梨学院陣内に攻め込むが得点を挙げる事ができない。山梨学院は右サイドから#6岡田からのセンタリングに、#7山田が飛び込みタッチシュートを決め、2点目を挙げる。天理は負けじと山梨学院陣内に攻め込むが得点には繋がらない。山梨学院は66分にPCを取得。#20藤井が右上にドラックフリックを決め、3点目を挙げる。そのまま終了し、3-0で山梨学院が勝利し準決勝に駒を進めた。

テクニカルオフィサー	西松 孝治	アンパイア	壽山 由樹
リザーブ	高橋 英行		我妻 順子
ジャッジ	武部 直美		

第2試合

立命館大学 5 $\begin{pmatrix} 4 & - & 1 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix}$ 1 関西学院大学

<得点>

立命館 : 2分 坂井、6分 山内、13分 山内、28分 坂井、66分 上館
関西学院 : 35分+ 山本

<戦評>

立命館大学のセンターパスにより試合開始。前半2分立命館#7坂井がサークル前でこぼれたボールをゴールに押し込み先制する。勢いに乗った立命館は6分に#12山下がサークル内の混戦の中、冷静にゴールに入れ2点目を挙げる。13分にはPCを取得し、3点目を挙げる。関西学院大学も果敢に攻めるが立命館の固い守りに阻まれシュートまで持っていくことができない。17分に立命館が関西学院陣内でボールを奪い、#7坂井がヒットシュートで左隅に決め4-0とし大きく突き放した。そのまま前半が終了するかと思われた。35分関西学院がPCを取得。関西学院のシュートは弾かれたが#10山本がこぼれ球を押し込み、1点返す。4-1で立命館リードで前半戦終了。

後半に入り43分立命館はPCを取得するが、得点につなげる事ができない。関西学院は、立命館陣内に攻め込むがシュートまで行けない。立命館は関西学院サークル内の混戦から#19上館が冷静に押し込み追加点を奪う。終始、立命館大学ペースで試合進み-1で立命館大学が勝利を収め準決勝に駒を進めた。

テクニカルオフィサー	荻谷 和代	アンパイア	信井 康博
リザーブ	渡邊 道彦		安本 忠義
ジャッジ	柴田 稔		

第3試合

$$\begin{array}{ccc} \text{山梨学院大学} & 0 & \left(\begin{array}{cc} 0 & - 0 \\ 0 & - 0 \end{array} \right) & 0 & \text{慶應義塾大学} \\ & \text{SO} & & & 3 - 2 \end{array}$$

<得点>

山梨学院 :
慶應義塾 :

<戦評>

慶應義塾大学のセンターパスにより試合が開始。立ち上がり、山梨学院大学のペースで試合は進み、17分PCを取得。慶應大のGK#2草薙の好セーブにより、得点には至らない。山梨学院は#7村田を中心に相手陣地に攻め込むも慶應大の堅いDFとGKの好セーブにより得点することができない。終了間際、35分に山梨学院はPCを取得するもDFに阻まれる。両チーム得点できないまま前半戦を折り返す。

後半に入っても、山梨学院は左サイドから#7村田がドリブルで3人かわし、シュートするも、慶應大GK#2草薙の好セーブに阻まれる。山梨は素早いパス回しで慶應大陣内に攻め込むも慶應大の懸命なDFに阻まれ得点を挙げるができない。一方、慶應大も山梨学院陣内に入り攻撃を仕掛けるが得点に繋げることができない。激しい攻防が続くが両チーム決定力に欠き0-0で試合が終了。SO戦に突入する。

山梨学院の先攻でSO戦が開始。1本目#7村田がシュートを外す。後攻の慶應大#25岡田がターニングシュートを決める。2本目山梨学院#9原田がブツシュートを決める。慶應大#20谷が冷静にシュートを決め、1-2とする。山梨学院#4大家がゴール右下に決め、同点に追いつく。慶應大はその後決めることができず、山梨学院は5本目#3長岡がゴールを決め、3-2で山梨学院が準決勝に駒を進めた。

テクニカルオフィサー	西松 孝治	アンパイア	高橋 英行
リザーブ	信井 康博		内田 太
ジャッジ	武部 直美		

第4試合

$$\begin{array}{ccc} \text{東京農業大学} & 0 & \left(\begin{array}{cc} 0 & - 2 \\ 0 & - 1 \end{array} \right) & 3 & \text{立命館大学} \end{array}$$

<得点>

東農大 :
立命館 : 3分 森、11分 森、63分 大橋

<戦評>

東京農業大学のセンターパスにより試合が開始。2分立命館大学がPCを取得。#11森がフリックシュートを右上に決め、先制点を挙げる。東農大も負けじと攻めこみPCを取得するが、得点には繋がらない。立命館は、11分#11森がサークル付近でボールを受け、そのままサークルに入り、リーバースヒットで右下に豪快に決め、0-2とする。東農大は、立命館陣内に攻め込むも立命館の堅い守りで得点に繋げることができない。立命館リードで前半戦を折り返す。

後半に入り、36分立命館がPCを取得。#11森がドラックフリックを打つも、東農大の#13氏家の好セーブにより追加点を挙げるができない。東農大は積極的に立命館陣内に攻め込むも、立命館の堅いDFにチャンスを得ることができない。48分、立命館は立て続けにPCを取得するも、東農大の粘り強いDFに決めることができない。63分、立命館はサークル内に打ち込んだボールを#9大橋が合わせゴール右下に決める。そのまま試合は終了し3-0で立命館が勝利を収めて、準決勝に駒を進めた。

テクニカルオフィサー	苅谷 和代	アンパイア	渡邊 道彦
リザーブ	壽山 由樹		石橋 徹也
ジャッジ	柴田 稔		